

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 09-01-05	事務事業名 都バス(「梅70」系統)運行事業	所管部課 都市整備部 都市計画課
-------------------	---------------------------	------------------------

施策コード 安1-2	施策名 道路・交通の整備	施策目標 道路・交通を整備し、市民の日常生活における利便性、安全性の向上をめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等	
	多摩地域における都営バス路線が、地域住民の日常生活において必要な移動手段であることから、路線の運行を確保するものである。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等/補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 東京都、青梅市、小平市、東大和市、武蔵村山市、西東京市及び瑞穂町において、多摩地域における都営バスの公共負担金に関する協定を締結し、都営バス(「梅70」系統)を西武柳沢駅から青梅車庫まで運行している。負担金については、都知事の諮問機関である公営企業等財政再建委員会からの「不採算路線の運行については、関係市町の公共負担を検討すべき」との答申を受け、関係市町合意のもと、昭和59年度から負担しており、関係市町の公共負担割合は、収支欠損額の3分の2相当額である(残り3分の1は東京都負担)。また、現在の協定期間は、平成23年度から平成25年度までの3ヶ年となっている。		
事業開始時期	昭和59年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(協定書に基づく公共負担金)

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		22,753	22,753	22,753	21,723
国庫支出金・都支出金		11,377	11,377	11,377	11,377
財源内訳	千円				
地方債		0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		11,376	11,376	11,376	10,346
所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	817	808	808	817
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	23,570	23,561	23,561	22,540
単位当たりコスト(E)=(D)/(運行便数)	千円				
		2	2	2	2

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 運行便数	実績値 便	11,583	11,587	11,583	11,614
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 1年間の運行便数					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次 「梅70」系統年間利用者数	目標値 人			825,262	825,262
	実績値 人	807,311	825,262		
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 「梅70」系統の年間の利用者数を成果指標とする。なお、現在東京都により集計中の平成22年度の年間利用者数実績は、平成23年の秋に確定予定となっている。なお、平成17年度に実施した乗降調査では、市内の利用者数は296人/日であった。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	青梅街道の5市1町を結ぶ幹線的バス路線として、昭和病院等への通院や小平駅、青梅街道駅、新小平駅等を経由する日常生活にとって必要な交通機関となっている。また、関係市町の中には、当該路線が主要な交通手段の1つとなっているために、現在の運行を引き続き維持したいとの意見がある。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 協定を締結している5市1町における各市町区間の利用者数では、青梅市504人/日、瑞穂町158人/日、武蔵村山市232人/日、東大和市444人/日、小平市549人/日、西東京市296人/日となっており、6市町の中で4番目の利用者数となっている。(5市1町平均364人/日) (17年度乗降調査結果)
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 本路線と一部重複して運行する民間バス路線(吉祥寺駅北口~花小金井駅)はあるが、市民から要望がある昭和病院へ直接アクセスする路線は無い。

事業コード 09-01-05	事務事業名 都バス(「梅70」系統)運行事業	所管部課 都市整備部 都市計画課
-------------------	---------------------------	------------------------

施策コード 安1-2	施策名 道路・交通の整備	施策目標 道路・交通を整備し、市民の日常生活における利便性、安全性の向上をめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	2	
C	市民ニーズの 把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し
	事業の 必要性	1	
	事業主体の 妥当性	1	
B	直接のサービスの 相手方	1	<input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、昭和病院への直通路線として一定の役割を果たしているが、利用状況に対して費用負担が大きい点が課題である。協定をめぐるこれまでの経緯を踏まえ、関係市にも配慮しながら、抜本的な見直しに向けて検討・調整されたい。</p>